

近現代史(002) ウィーン体制

1-3.ウィーン体制

問1【正文選択】ウィーン議定書

①フランスでは**オルレアン朝**が正統の王朝と認められた。

※1. ウィーン議定書では復古王政[1. _____]が復活し、[2. _____]が即位。

※2. オルレアン朝は1830年[3. _____]で成立した王朝。復古王政ブルボン朝のシャルル10世の反動的な政治に対し、3日間の市街戦に勝利し王をイギリスに亡命させた。立憲君主派と共和派が対立したため、妥協として自由主義者として知られたオルレアン公[4. _____]が即位した。

②ポーランドは実質**プロイセン**の支配下に入った。

※1. プロイセンではなく[5. _____]。露皇帝が[6. _____]の王を兼ね同君連合。

※2. プロイセンは[7. _____](ライン川下流：ドイツ産業革命の中心)を獲得。

③イギリスは**フランス**からケープ植民地を獲得した。

※1. フランスではなく[8. _____]。イギリスは**オランダ**からケープ植民地と[9. _____]を獲得し、1800年にナポレオンから奪った[10. _____]の領有を認められた。

※2. **オランダ**はケープ植民地と**スリナム**の代わりとしてオーストリアから[11. _____]を獲得。

④オーストリアは新たに形成されたドイツ連邦の盟主となった。

※1. ウィーン体制では[12. _____]は復活しなかった。

※2. 35領邦と4自由市からなるドイツ連邦が成立し、オーストリアはその盟主となる。

※3. 普墺戦争を契機にプロイセンを中心として形成されたのが[13. _____]。

※4. 普仏戦争を契機にプロイセンを中心として形成されたのが[14. _____]。

問2【誤文選択】ウィーン体制下での各地の動き

① イギリスの第1回選挙法改正では、産業資本家に参政権が拡大した。

【イギリス選挙法改正】

第1次	1832	グレー	ホイッグ	[15. _____]廃止、産業資本家に参政権
第2次	1867	ダービー	保守	[16. _____]に参政権
第3次	1884	17.	自由	農業・鉱山労働者に参政権
第4次	1918	18.	自由	21歳以上男子、30歳以上女子に普通選挙権
第5次	1928	19.	保守	21歳以上の男女に普通選挙権
国民代表法	1969	ウィルソン	労働	有権者年齢を[20. _____]歳に引き下げ

②フランス二月革命後の臨時政府には、社会主義者の**サン=シモン**が入閣した。

※1. サン=シモンではなく、[21. _____]。ルイ=ブランは二月革命で活躍し、臨時政府に入閣して労働委員会委員長となった。[22. _____]の設置など社会主義政策を推進したが、四月選挙で落選し、[23. _____]後イギリスに亡命した。

※2. [24. _____]

・フランス革命の激動を生き、[25. _____]を主張した。王侯貴族や僧侶が支配する旧社会を批判し、資本家や科学者や労働者などの産業者が自主的に管理・支配する社会が、人類を解放すると考えた。

③ロシアでは、デカブリストによる蜂起を新皇帝ニコライ 1 世が弾圧した。

※ 1. デカブリストの乱

・1825 年 [26. _____] 死去と新皇帝ニコライ 1 世即位という機会を捉え、ポロノ戦争で西欧文明に触れた青年将校らがロシアの後進性を痛感し [27. _____] を目標として乱を起こす。

※ 2. ニコライ 1 世

・デカブリストの乱を鎮圧し、専制政治を強行。対外的にはギリシア独立戦争・第二次エジプト＝トルコ戦争で南下政策を進めるが、第二次エジプト＝トルコ戦争後で [28. _____] を破棄され失敗する。
[29. _____] を始めるが戦争のさなか死亡した。

④ベルギーはオランダからの独立を達成したのちに永世中立国となった。

☆ベルギーの歴史

- ・ 1555 年まで [30. _____] のハプスブルク帝国が領有
- ・ 1556 年 カール 5 世が退位して [31. _____] =ハプスブルク家領となり [32. _____] が領有。フェリペ 2 世はカトリック政策を展開。新教徒が多いネーデルラントは不満が蓄積。
- ・ 1568 [33. _____] →北部はユトレヒト同盟を結んで独立達成するが、南部は脱落
- ・ 1701～1713 スペイン継承戦争→西がブルボン家になったので南ネーデルラントは [34. _____] で奥へ
- ・ 1815 ウィーン会議→奥は蘭に [35. _____] を割譲し代償としてロバールデアとヴェネチアを獲得
- ・ 1830 [36. _____] でオランダから南ネーデルラントが [37. _____] として独立。

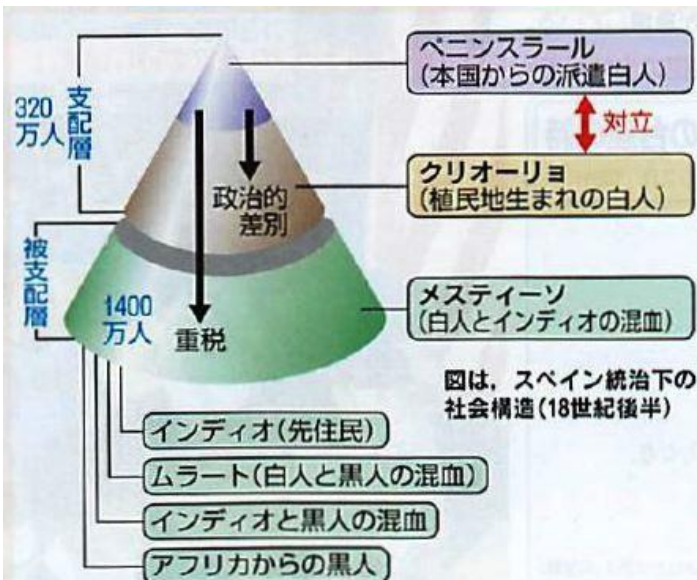
問 3. 【正文選択】ラテン＝アメリカの独立

①ハイチのフランスからの独立がその先駆けとされている。

※ 1. 「黒いジャコバン」と称された [38. _____] が指導者。

※ 2. フランス革命の影響で黒人奴隷が反乱。1804 年に独立、 [39. _____] となった。

②クリオーリョと呼ばれるヨーロッパ生まれの白人が独立の主体となった。



※ 1. クリオーリョは [40. _____] 白人。地主階級。

※ 2. ヨーロッパ生まれの白人は [41. _____] と呼ばれる。

・蔑称： [42. _____]

※ 3. 白人×先住民=[43. _____]

白人×黒人=[44. _____]

先住民×黒人=[45. _____]

③オーストリアの宰相メッテルニヒは独立を援助した。

※ メッテルニヒは [46. _____] を率いて、ラテン＝アメリカの独立に干渉しようとした。

④アメリカ合衆国モンローはモンロー教書を発表し、独立を牽制した。

※モンロー主義は [47. _____] を唱えるものであり、メッテルニヒの干渉を牽制。